

ProMED-mail情報 2015年 11月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
28日	鳥インフルエンザ (H5N2) ベトナム	ベトナム中部で高病原性鳥インフルエンザH5N6の流行が確認。2例ともクアンガイ省の家禽で824羽が死亡し861羽が殺処分。ハティン省では高病原性のH5N1感染が発生し100羽が死亡、549羽が殺処分。
27日	ハンタウィルス感染症 チリ	ラ・アラウカニア州で新たなハンタウィルス感染患者が発生。患者はVictoria communityの44歳で農業従事者。20日に発症、25日に地域の病院に入院。2015年に入って、この地域では9例目。
26日	手足口病 重症エンテロウィルス (EV) 71感染症 香港	保健当局は東部地区の中学校で発生した手足口病の流行と重症EV71感染症患者について調査。健康な13歳男児で、11月7日から発熱、咽頭痛、頭痛、項部硬直、発疹あり。14日に救急受診し入院。髄膜炎と診断、便検査でEV71陽性。最近の渡航歴なく、家族に同症なし。
25日	百日咳 スペイン	アンダルシア地方政府当局は2015年9月にセビリヤの病院で生後2か月の乳児が死亡したと報告。10月にもマラガで生後18日の乳児が死亡。いずれも母親がワクチン未接種。1歳未満の乳児を中心に百日咳の患者が増加しており、アンダルシアとマドリッドの当局は妊娠女性へのワクチン接種を計画。
21日	ジカウィルス ブラジル	ブラジル国内で前例のない大流行が起こっている中、保健省によれば3か月あまりで399例の小頭症の新生児が報告。例年は100～120例。母親のジカウィルス感染との関連が疑われている。
20日	鳥インフルエンザ (H7N9) 中国	2015年2月浙江省の病院の同じ病棟で家族間感染でないH7N9が発生。1人目は49歳男性で市場で生きた鶏2羽を買った後に発熱、咳、咽頭痛。2人目は57歳男性で慢性の呼吸器系疾患を既往とし、1人目の5日後に症状が発現。鶏のH7N9が陽性で、同じ市場の鶏11羽も陽性。
18日	SARS様コロナウィルス 中国	新たに発見されたSARS様ウィルスは、変異することなく、コウモリから種を越えてヒトへと感染し流行する危険性。SHC014-CoVと名付けられたウィルスがヒト-ヒト感染するかは不明。
15日	狂犬病 ボリビア	保健局は2015年1月からコチャバンバ県セルカド郡の動物に40例の狂犬病感染、その他の市に41例を確認し緊急事態を宣言。同年の人間の感染者2例はワクチン接種を受けず死亡。1歳以下の動物へのワクチン接種と、犬や猫に傷つけられたら近医へ受診することが重要。
11日	ハンセン病 フィリピン	WHOによれば2014年フィリピン国内で1655例の新患が発生し西太平洋地域最多。次いで中国の823例、パプア・ニューギニアの540例。セブに国内最大の治療施設があり、政府系の病院では多剤療法が無料で提供。
8日	黄熱ワクチン不足	1930年代のワクチン導入以来、感染リスク地域住人の70%以上への接種で流行を防止していたが接種率低下。一年間に20万人が感染し3万人が死亡。死亡の90%はアフリカ。ワクチン不足で接種率が更に低下し、UNICEFによれば需要6400万人分に対し生産は3500万人分。
7日	クリミア・コンゴ出血熱 パキスタン	ペシャワールで治療中だったアフガニスタン国籍の26歳女性が死亡。国内での死者は24人。そのうち2人がアフガン国籍で、10人がペシャワールとバンヌの行政区。他に32人の患者が各病院に入院。
5日	マラリア ベネズエラ	保健省は2015年10月17日の時点でベネズエラに105757例のマラリア患者を報告。過去5年間と比較して110%増加。高度800mを越える地域を除く国内5%の地域にマラリアを伝播するハマダラカを認める。
2日	梅毒 オーストラリア	性行為感染症は減少傾向だが2011年に始まった流行が拡大し、10人の乳児が死亡。2014年新たに2000例が診断。30年ぶりの深刻な流行。